

○事業所名	キッズワンハート石浜教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に保護者様と面談をすることで、事業所の利用に関して安心感を持って頂けている。学校や他事業所とも連携を図っている。	半年に一度は面談を実施している。その際アセスメントを取っていき、アセスメントの更新を行っている。日々ご利用時の様子は、送迎時やアプリの連絡ツールを通じて保護者様に様子をお伝えしている。また、すぐに対応が必要な時は、電話でお伝えしたり、早急に面談等を行っている。また、他事業所とも連携を図りケース会議を開くことで支援の統一を図っている。	今後もアセスメントを取っていき新しく入った情報などはパートさんにもわかるように情報を共有していく。また、定期的に保護者様と面談をしたり、他事業所と連携をしていくことで事業所の利用に関して安心感を持って頂けるように努めていく。
2	職員間で様々な資格を持っている職員がおるため多職種連携をして支援に努めている。	保育士や児童指導員の他にも、公認心理師、介護福祉士、社会福祉士、強度行動障害支援者養成研修(実践研修)といった資格を様々な職員が取得している。職員同士多職種連携を大切に感じしており、意見を客観的に聞き、日々構造化を更新していき、環境調整に努めている。	今後も多職種連携を図っていくためにも専門性を高めていく。専門性にあった研修にも積極的に参加していただくことで資質向上を高めていく。
3	虐待防止に関する研修に参加したり、職員のメンタルヘルス面に対して力を入れている。	虐待防止委員会にも積極的に取り組み、日々ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している。メンタルヘルスの研修にも役割別に分かれて職員全員が参加できる機会を設けた。	今後も継続して職員のメンタルヘルスに力を入れていく。新しく入ってきた職員にも気軽に相談できるように第三者を交えて、自分の意見を言い出せる関係性を作っていく。職員の気持ちが安定することでご利用者様の安定した支援へとつながるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動や、保護者会等の開催が行われていない。	働いている保護者様も多く、時間をとることが難しい。学校が同じ利用者が多く、普段から知り合いの保護者が多い。SNS等で様々な研修があり、情報もあふれているため、保護者会を希望する声が出てこない。	年間計画を事前に作成してあらかじめ保護者様にアプリを通して伝えていく。父母の会や保護者会といった繋がりを希望する保護者様には随時対応していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流といった地域の子供たちとの交流ができていない。	公園に行くと地域の子供たちがいるが一緒にかかわることは少ない。石浜教室の利用者が中高生が多く、地域の公園で遊んでいる小学生と関わっていくのが難しい。	固定された公園だけでなく様々な公園に積極的に行き交流できる機会を増やし、自然な流れで関わる機会を増やしていく。
3	送迎後、一日の振り返りが毎日出来ていない。	送迎範囲が広く事業所に戻ってくる時間が遅くなってしまう。当日の振り返りができなく翌日に行っている。	送迎範囲の検討をしていく。送迎するスタッフを増やしたり、行く場所を分散して戻ってくる時間を早くし振り返りに時間をあてていく。